

## 1 分解方法

### ①分解

#### a. $\phi 4 \sim \phi 10$ の場合

シリンダチューブを万力等で軽く固定し、ロッドカバーに設けた二面幅をスパナ等でくわえ、反時計回りに回転させてロッドカバーを外します。

#### b. $\phi 12 \sim \phi 20$ の場合

適正なプライヤ(穴用C型止め輪用工具)にて止め輪を取り外します。

取り外しの際に止め輪がプライヤから外れて飛び、人体および周辺機器に損害を与えてしまう恐れがありますのでご注意ください。

### ②既存パッキンの取外し

ピストンパッキン、チューブガスケット(Oリング)はパッキンの端をつまみ、溝から抜き取ります。

ロッドパッキンは細い時計ドライバ等を使用し、パッキン溝から抜取りますが、その際、溝内および軸受部にキズを付けないよう注意してください。

## 2 組立方法

### ①パッキンの装着

#### a. チューブガスケット(Oリング)

チューブガスケット(Oリング)表面には、パッキンセットに付属されている専用グリスを薄く塗り、所定の溝に装着してください(複動形のみ)。

#### b. ピストンパッキン

ピストンパッキン側面に設けてある凹凸部の凹部に専用グリスを塗り込み、その後、所定の溝にねじれないように装着してください。

#### c. ロッドパッキン

ロッドパッキン全体に専用グリスを薄く塗り、また、U溝部に専用グリスを塗り込みます。

その後、所定の溝に装着してください。ロッドパッキンには装着の向き(リップ部がヘッド側)がありますのでご注意ください(複動形のみ)。

### ②シリンダチューブへのグリスの塗布

各種パッキンを交換した際はシリンダチューブへのグリスの塗布をおすすめいたします。

既存のグリスを綺麗なウエス等で拭き取ってください。その際、シリンダチューブ内面にキズを付けないように注意すると共に、ウエス等の繊維を残さないように注意してください。

エア漏れの原因になります。

### ③組立

#### a. $\phi 4 \sim \phi 10$ の場合

ロッドカバーアセンブリにピストンロッドアセンブリを組付け後、シリンダチューブに装着してください。

ロッドカバーの締付けは、下表のトルクで行ってください。

ロッドカバー締付トルク

$\phi 4$	$\phi 6$	$\phi 8$	$\phi 10$
0.97N・m ±10%	3.08N・m ±10%	5.02N・m ±10%	5.63N・m ±10%

#### b. $\phi 12 \sim \phi 20$ の場合

ロッドカバーアセンブリにピストンロッドアセンブリを組付け後、シリンダチューブに装着してください。

適正なプライヤ(穴用C型止め輪用工具)にて止め輪を装着します。

装着の際に止め輪がプライヤから外れて飛び、人体および周辺機器に損害を与えてしまう恐れがありますのでご注意ください。

また、確実に止め輪溝に入っていることを確認してください。

## 3 検査

パッキン交換後の製品は作動検査、エア漏れ検査を実施し、異常がないことを確認してから、使用してください。